

日教組全国人権教育実践交流集会

福井県開催！

11月28日(土)・29日(日)の両日、福井県敦賀市において、上記の集会が開かれ全国より130名が参加しました。今年度は本県開催となり、福井県教組が準備に関わり福井のよさもアピールしました。

1日目 全体会・分科会・交流会

開会行事の現地報告では、新潟高教組から、北陸発の平和大使立ち上げまでの経緯等について報告がありました。また石川県教組からも、外国籍の子と関わる中で人権意識が高まった事例が報告されました。講演会では鹿島啓一弁護士から、人格権を優先させた**福井地裁**の原発訴訟判決に関する講話がありました。北陸ブロックでの開催にふさわしい内容でした。



現地報告 新潟高教組 吉田裕史副委員長

2日目 フィールドワーク(敦賀市内)

敦賀市内のフィールドワークは、「人道の港 敦賀」「美浜原発と福井県」をテーマに3つのコースで行われました。ユダヤ難民を日本通過ビザ(命のビザ)で救った外交官杉原千畝と敦賀とのかかわりを**古江孝治さんより講演**をいただき、敦賀ムゼウム等敦賀港を観覧しました。折しも映画「杉原千畝 スギハラチウネ」が12月5日に全国公開されることが新聞にも掲載され、参加者の関心が高まりました。また、美浜原発では厳しいセキュリティーチェックを受けたあと、**専用バスで原発構内**に入りました。古からある美しい砂浜と現代科学の象徴である原発建屋とのコントラストが印象的でした。



「命のビザと人道の港敦賀」
講師 古江孝明さん



美浜原発PR館

2日間を通して、だれもが人として幸福に生きるための「人権」について考えることができました。